

# 建築人

2025

1

Osaka Association of Architects & Building Engineers  
Newsletter "Kenchiku-Jin" No.727





# 建築人

2025.01 No.727

Osaka Association of Architects & Building Engineers  
Newsletter "Kenchiku-Jin"

## 2025年(令和7年)年頭所感

公益社団法人 大阪府建築士会  
会長 岡本森廣



新年 明けましておめでとうございます。

本会は創立74年目にして、建築から社会を俯瞰し共創するコンセプトをもつ本会常時のキャッチコピーである『建築からソーシャル

デザインへ』をテーマとして掲げ、建築士会全国大会「大阪大会」を開催いたします。併せて公益社団法人全日本不動産協会と協同し、「ミライREBORNスマイプロジェクト」として大阪・関西万博に出展致します。公益社団法人への移行から12年を経て、近年多頻度甚大化の大規模自然災害に対する応急危険度判定・被災度判定・建築相談・罹災証明調査・災害鑑定調査等の活動で、府民財産の保護など益々社会貢献活動を充実させ、それらに携わる会員建築士の育成とスキルアップを図っております。

また、少子高齢化を背景にして、各種事業や事務局の運営もDX・GX・SX化を促進し、組織のスリム化と合理化を図り、健全財政を保持するべく努めております。

本会の基幹は、公益法人としての建築士の育成と社会貢献活動で両立しており、より広く府民の方々にも団体の存在をアピールし、国際的視野も含めて建築士会の認知度を高め、斯界全体の奮起に繋げてまいります。

会員の皆様には、本会活動の更なる推進にご理解とご支援をお願い申し上げます。

## 大阪浪漫

(1987年・道頓堀)

写真・文 喜多 章

随分過去の事だが道頓堀に在ったレトロな雰囲気のあるキリン会館の中に、当時戎橋劇場と言う名画座があり若い頃よく観に行った。

バブル期の真っ最中に高松伸の設計したインパクトのあるビルに建て代わり、映画ブラックレインにも登場し驚いた記憶がある。

1987年頃だったと思うが新しい道頓堀の表情を撮ろうと新鮮な気持ちでシャッターを切った写真だが、今や懐かしい道頓堀の風景写真になってしまった。

表紙の建築 「堂島実践倫理会館」2022年

第16回 建築人賞新人賞 受賞作品  
設計：竹中工務店  
施工：竹中工務店  
撮影：仲佐 猛

毎日早朝に利用される研修室を軸に、多様なライフスタイルに寄り添うラウンジを併設したサードプレイスとなる研修施設の計画。街から3階研修室へ、吹抜けを中心に螺旋状につながる動線が居場所を紡ぐ構成により、無縁社会と呼ばれる中、再び他者とのつながりを生む温かな場を目指した。

2 大阪浪漫

4 Gallery 建築作品紹介

「イノゲート大阪」

基本設計：西日本旅客鉄道、ジェイアール西日本コンサルタンツ、東畑建築事務所設計共同体  
実施・監理監修：ジェイアール西日本コンサルタンツ、東畑建築事務所設計共同体  
実施設計、工事監理：西日本旅客鉄道、大林組  
施工：大阪駅西北ビル外新築他工事特定建設工事共同企業体(大林組・大鉄工業)

「ピカソ美化学研究所駒ヶ根研修センター」

設計：井上久実設計室  
施工：ヤマウラ

「大阪西本願寺常照園児童養護施設」

設計：二井清治建築研究所  
施工：安部工務店

8 動静レポート

9 Topics

10 Information

12 News of Note

18 記憶の建築

「三里塚教会」1954年  
吉村順三の遺した木造教会の今 / 松隈 洋

建築人 No.727 2025年1月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報委員会

編集 建築情報委員会『建築人』編集部

部門長：田鍋 稔

委員長：松下典央(編集人代表)

編集人：武藤優哉 石上芳弘 荻窪伸彦 河崎太平  
昇 勇 橋本頼幸 春岡須磨子  
三谷勝章 村上栄司 山本恭史

事務局：辻本和人 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

令和7年1月1日発行

発行人：会長／岡本森廣

発行所：公益社団法人大阪府建築士会

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

tel. 06-6947-1961

# Gallery

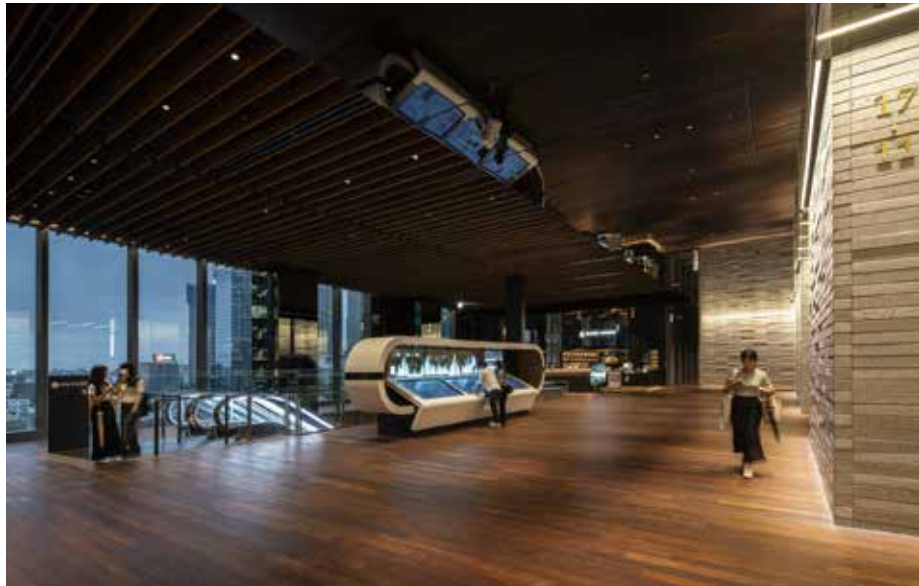
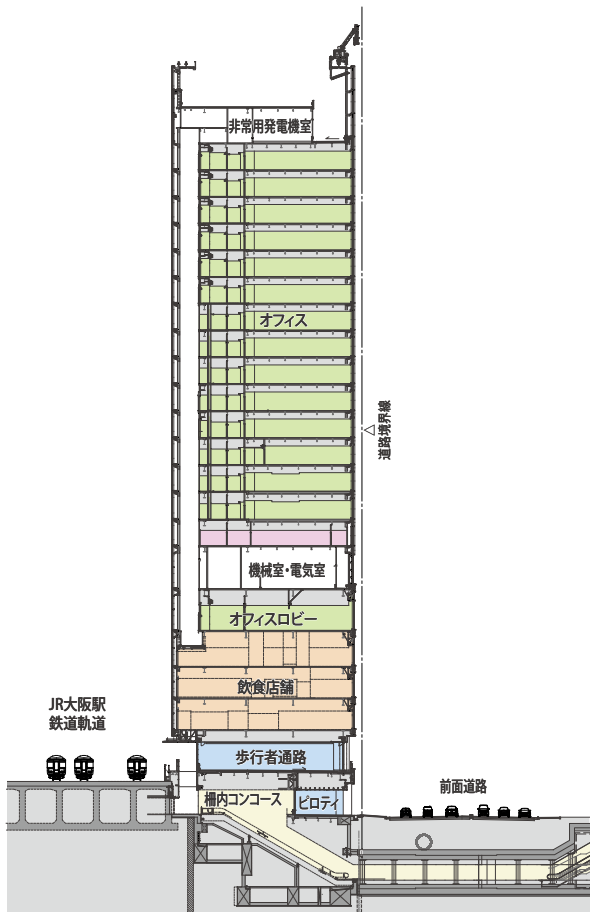


写真提供：西日本旅客鉄道株式会社、CLUCKY LAND COMMUNICATIONS / 集英社 ※画像転載不可



# イノゲート大阪

基本設計：西日本旅客鉄道、ジェイアール西日本コンサルタンツ、東畑建築事務所設計共同体  
 実施・監理監修：ジェイアール西日本コンサルタンツ、東畑建築事務所設計共同体  
 実施設計、工事監理：西日本旅客鉄道、大林組  
 施 工：大阪駅西北ビル外新築他工事特定建設工事共同企業体（大林組・大鉄工業）



イノゲート大阪は大阪駅のサウスゲート・ノースゲートビルディングに続く新たな駅ビルとして2024年夏に開業を迎えた。うめきた地下駅や新西口改札の供用開始、さらにうめきた2期「グラングリーン大阪」の先行まちびらきを受け、西へ拡張する大阪駅の玄関口と回遊拠点の役割を担っている。鉄道軌道沿い160mの狭險敷地に現れる超スレンダーボリュームを斜めに切り落としたビルシェイプは西へ拡張する街の楔として先進性を発信する。街の回遊動線を構成する1、2階通路部や6階のオフィスロビーは新しい街との接点となる（セミ）パブリックスペースであり、多くの来訪者の時間を蓄積する。重厚な組積壁や反射率の高い素材、天然木材などの組合せにより、街の風景や意識を取込む「時を纏う」駅ビルを目指して計画した。（大林組）

所在地：大阪府大阪市  
 用途：事務所、駅、飲食店舗  
 竣工：2024.07  
 構造規模：S造+SRC造  
 地上23階  
 地下1階  
 敷地面積：19,837.92㎡  
 （高架下含む）  
 建築面積：3,702.56㎡  
 （高架下施設除く）  
 延床面積：60,411.03㎡  
 （高架下施設除く）  
 写真：伸和（数内正直）



建物は、南アルプスと中央アルプスの二つの山々を望む素晴らしい環境に位置する。隣接地にやがて建設する工場に先立ち、社員のための研修施設を計画した。山々への眺望を最大限活かしつつも、周辺環境への影響を最小限とする建築が求められた。ボリュームを抑えるために、建物は基本的に平屋とし、小さな屋根を連続させることで、敷地に広がる伸びやかな建築とした。室内は、天井の高さに強弱を付け、どの部屋からも東に見える南アルプスに大きく開いた窓を、象徴的に設けている。また、館内の至る所、ふと振り返った視線の先や長い動線の先などで、風景と繋がり、周囲の環境を楽しむことができる。年月と共に新たに植えた樹々が生長し、周辺環境と建築とランドスケープが融合する姿を楽しみにしている。

所在地：長野県駒ヶ根市  
用途：寄宿舎  
竣工：2024.10  
構造規模：木造  
地上2階  
敷地面積：2,340.65㎡  
建築面積：381.30㎡  
延床面積：422.70㎡  
写真：富田英次



大舎制の児童養護施設の建替えにあたり、6人のグループからなる複数の小規模な児童棟と本館棟を計画し、より地域に近い生活を目指した。

本館棟には、各グループの職員や心理士などの専門職が集まるスタッフルームや、子ども、卒園者、地域の方が集まるホールを設置し、子どもたちの生活を様々な面から支援する。

児童棟をつなぐ緑道や本館棟前の広場は、シンボルツリーのアメリカカワウをはじめ実なる木や四季の花が咲き、職員や子どもが集う場となる。周囲の家並みに溶け込む木造2階建ての建物が、地域の中にある児童養護施設の新しい形を示している。

所在地：大阪府吹田市  
 用途：児童養護施設  
 竣工：2024.03  
 構造規模：木造  
 地上2階  
 敷地面積：2,169.23㎡  
 建築面積：923.23㎡  
 延床面積：1,239.31㎡  
 写真：母倉知樹

# 動静レポート

## 会長動静

- 11/27 近畿会長会議、近畿建築士会協議会
- 11/29 ホーチミン市建築士会交流会  
イスラエル建築家交流会
- 12/2 「命を守る ひと部屋断熱」実行委員会
- 12/4～6 香港 DESIGN INSPIRE 視察
- 12/7 近畿学生住宅大賞審査会・表彰式  
「命を守る ひと部屋」シンポジウム
- 12/9 大阪府収用委員会
- 12/12 大阪狭山市長面談
- 12/13 河内長野市長面談
- 12/15 正副会長会議、運営会議
- 12/17 松原市長面談
- 12/18 阪南市長面談、理事会
- 12/20 全国大会引継ぎ会、貝塚市長面談
- 12/23 日本建築士会連合会教育・事業本  
委員会
- 12/25 国土交通省・豊島建築指導課長面談

## 会長・役員による大阪府及び市町村訪問

◎ 12/12 大阪狭山市・古川照人市長と面談



左より/牧田専務理事、上田副会長、古川市長、岡本会長、松村地域委員

◎ 12/13 河内長野市・西野修平市長と面談



牧田専務理事、西野市長、岡本会長、石貫副会長、五嶋委員

◎ 12/17 松原市・澤井宏文市長と面談



牧田専務理事、岡本会長、澤井市長、山本委員

◎ 12/18 阪南市・上甲誠市長と面談



小崎委員、横田副会長、上甲市長、岡本会長、牧田専務理事

## 12 月度 理事会報告

日時 12月18日(水) 16:00～17:30

場所 本会・東会議室

出席 理事 42/46名 監事 2/2名

(1) 入退会の承認

(人)	11月	入会	退会
正会員	2,172	0	2
準会員	28	1	0
特準会員	20	0	0
賛助会員	144	1	0
計	2,364	2	2

(2) 会計報告

(円)	11月計	累計
収入	3,082,822	99,279,345
支出	11,335,623	87,106,316
差引	△ 8,252,801	12,173,029

上表の当期経常増減明細を承認しました。

(3) 耐震診断業務料金の改定

耐震インスペクション委員会で行う耐震診断業務について、来年度からの料金改定を承認しました。

(4) 電話相談委員の相談費用

建築相談委員会で行う電話相談について、来年度からの電話相談員の交通費の改定を承認しました。

(5) マンション管理支援員の誓約書・登録申請書

マンション関連業務については、事前に誓約書、登録申請書、経歴書を提出し承認を受けた本会のマンション管理支援員が受託することを承認しました。

(6) 「住まいのケア・専門家チーム」事務局担当の依頼

大規模災害の復旧時、府民の相談に対応する相談員の派遣を行う「住まいのケア・専門家チーム」の事務局業務について、大阪府からの依頼を受け本会が担当することを承認しました。

## 枚方市総合防災訓練に参加

11月24日に枚方市総合防災訓練が実施され、枚方市と災害時応援協定を締結している本会から被災建築物応急危険度判定3名が参加しました。

枚方市立殿一小学校・磯島小学校に地域の防災リーダーや学校関係者、市長をはじめ市職員が参集し、避難経路の安全確認や避難所開設時の注意点、建物の安全確認チェック方法、ドローンを利用した避難所(体育館)の屋根のチェック、及び殿一小学校では、避難建物の空調方式や停電時の発電配線の切替法の説明、磯島小学校では、給水車による給水方法について説明などが行われました。

本会の判定士は、避難所の危険性チェック方法などの説明を行い、避難所(体育館)の危険可能性箇所を具体的に指摘し、有事の際に地域住民を安全かつ迅速に避難所へ誘導して退避できるかを確認しました。



防災訓練の様子

## 令和6年建築士試験 合格発表

令和6年建築士試験「設計製図の試験」の合格者が二級建築士、木造建築士は12月5日に、一級建築士は12月25日に発表されました。

(全国)

製図試験	一級	二級	木造
実受験者(人)	11,306	9,947	342
合格者数(人)	3,010	4,680	242
合格率(%)	26.6	47.0	70.8



## 立命館大学 大阪いばらきキャンパス 新展開施設H棟 建築技術講習会

日程：令和6年10月22日(火)

会場：立命館大学 大阪いばらきキャンパス

参加者：29名



田中秀人(研修委員会理事)

立命館大学大阪いばらきキャンパスは、「アジアのゲートウェイ」「都市共創」「地域・社会連携」を教学コンセプトとして教育・研究活動を展開されています。また、「ソーシャルコネクティッド・キャンパス」として、社会課題の解決を通してイノベーションを創出し、地域共創を推進する場と位置付けられています。

今回の建築技術講習会では、当キャンパス内において先日竣工を迎えた新展開施設H棟の建築設計担当者・設備設計担当者・施工担当者から設計・施工上の工夫について解説して頂き、立命館大学大阪いばらきキャンパス新展開施設H棟の全貌をご紹介頂きました。

最初に、(株)竹中工務店大阪一級建築士事務所の永井企画プロポーザルグループ部長より、大阪いばらきキャンパスの全体構想、H棟の設計コンセプト、外装デザイ

ン等について講演頂きました。

次に、(株)竹中工務店大阪一級建築士事務所の越村主任設備設計担当より、デジタルツイン技術を用いた大空間吹抜(コラボレーション促進するInnovation Lounge)における空調エネルギー削減技術、利用者が有効に施設を利用するための館内情報の見える化等、新しいエコキャンパスの姿について講演して頂きました。

最後に、(株)竹中工務店京都支店の井本シニアチーフエンジニア工事担当より、最先端の施工BIM活用状況、デジタル技術を活用した施工管理方法等とともに、工事概要を詳しくご講演頂きました。

講演後、建物内・キャンパス内を見学させて頂き、現地にて地域との関わり方・自由なコミュニケーションを誘発する建築的な仕掛け等を適宜説明して頂く中で、講演内容がどのように具現化されているかをリアルに実感

できる機会であったと思います。

参加された皆様には非常に有意義な機会になったものと感じており、本見学会・説明会を無事に終えることができ、講習会に協力頂きました立命館大学大阪いばらきキャンパス関係者様をはじめ、講師の皆様、後援団体の皆様、参加者の皆様に対して、この場を借りて心より御礼を申し上げます。



## 建築相談室から(91) 面接相談から

橋本頼幸(建築相談委員会幹事)

建築相談には電話での相談の他に、面接での相談と現地相談があります。面接相談と現地相談は有償ですが、2023年度は面接相談15件、現地相談23件実施しています。今回は面接相談からご紹介します。

隣地の施工業者から指摘があった

隣地で開発計画があり自己敷地に面して開発道路が接する。自己の敷地内にコンクリートブロック5段と1m程度のフェンスがある。隣の業者からコンクリートブロックが危ないのではないかと指摘を受けている。建築基準法や行政の基準をクリアするためにどのような方法があるのかとのことで写真を持参して面接相談がありました。写真を見る限りコンクリートブロックはかなり劣化が進行しているようで、撤去してフェンスにした方がよい、公道に接する部分であれば補助金制度もあるのではないかと、アドバイスをしています。

自宅マンションから漏水した保証額

給水管から漏水をさせてしまった。下の住戸に被害が生じ、リフォーム工事をしている。リフォーム工事費用や引越費用、慰謝料で900万円、家財などで1000万円要したうち、下階加入の火災保険から保証があるが、不足分350万円支払えと言われていたとの相談。面接相談では見積書を持参して内容を確認。見積は住戸まるごとリフォームになっており、漏水被害以外も含まれている。下階で給排水工事や電気・ガス工事なども含まれ、内装下地も工事範囲になっている。相談担当者は、純粋に漏水箇所の補修にかかった見積を出してもらい、その部分の被害がわかる写真などの証拠書類が必要で、それらが揃わないと支払う義務はない、こちらで保険加入しているようであればそれを使って保険会社と相談してください、とアドバイスしています。

大規模修繕の見積チェック

所有する築32年の賃貸マンションの大規模修繕工事の見積が管理会社から出てきた。これまで管理会社に全て委託していたが、想像以上に額が大きく第三者の確認をしてもらいたい、との相談。見積書は、一般的に単価が高い項目がいくつか見られた。見積書にあるリニューアルや改修工事の必要性がわからない。所有者としてどういった工事をしたいのか、どこまで工事をするのかを把握しておくことが大切であるとアドバイスしています。また、一般的な大規模修繕をするときの流れも説明したとのことでした。写真や見積を見ながら説明できる

面接相談は写真や見積をみながら相談者がわからないことや疑問に思うことを直接対面で説明できることが大きな特徴で、相談者の満足度も高くなっています。面接相談は突然の相談にも対応しやすいようです。

## 建築士会からのお知らせ

### 「建築士サポートセンター」の開設

建築基準法・建築物省エネ法改正に係る各種申請手続きをサポートします

建築基準法・建築物省エネ法の改正法が令和4年6月に公布、関係する政省令等が整った規定から段階的に施行され、令和7年4月には全面施行を迎えます。

- ① 建築確認・検査手続きに係る審査特例(4号特例)制度の見直し
  - ② 小規模木造建築物に係る壁量計算等の構造規定の見直し
  - ③ 省エネ基準適合義務化
- 国土交通省では、改正法の円滑な施行に向けて、説明会、講習会等による周知とともに、申請者(建築士等)を個別にサポートできる体制を全都道府県において構築します。本会でも令和7年1月6日より「建築士サポートセンター」を開設しました。本会HPよりお申し込みを受付中ですので、ぜひご利用ください。

### 【WEB版】確認申請のプロ養成講座 初級編

11/1～1/31 CPD3単位

なかなか教えてもらえなかった確認申請。その基本を知るだけで、あなたは確認申請のプロと呼ばれる。訂正項目が少なく、審査がしやすい申請図面が作成できれば建築着工も安心!常に変化している確認申請の世界。住宅の省エネ適合義務化や4号特例の縮小、そして申請のデジタル化による電子申請などの最新事情がわかる。

※2024年2月28日に実施した同名の講習会と5～10月に配信した同名講座と同内容です。  
視聴期間 11/1(金)10:00～1/31(金)終日  
配信方法 WEB講習

受講料 建築士会会員6,000円  
後援団体会員6,500円  
一般7,000円

主催 (一社)近畿建築確認検査協会  
共催 (公社)大阪府建築士会

### 令和6年度監理技術者講習

1/15、3/7 CPD6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講ください。

日時 1/15(水)、3/7(金) 8:55～17:00

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 30名(申込先着順)

受講料 WEB申込み9,500円

郵送申込み10,000円

申込 日本建築士会連合会HPより

<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

### 令和6年度 建築士定期講習

1/22、2/4、3/27 CPD6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は令和3年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

#### ▼対面講義

日程・会場・定員

※2/4(火) 大阪YMCA会館 200名

#### ▼DVD講義

日程・会場・定員

1/22(水) 大阪府建築健保会館 90名

3/27(木) 大阪府建築健保会館 90名

※の日程 大阪府建築士会が運営

※以外の日程 大阪府建築士事務所協会が運営

注) 各回定員に達し次第、受付を終了します。

時間 9:15～17:00(各講習日共)

受講料 12,980円(消費税含。事前入金)

申込 下記URLよりお申込みください。

インターネット申込みができない方は、大阪府建築士会HPの定期講習の案内をご確認ください。

[https://www.jaeic.or.jp/gyomu/off\\_teiki/index.html](https://www.jaeic.or.jp/gyomu/off_teiki/index.html)

### 既存住宅状況調査技術者講習

更新講習3/12 CPD2単位

既存住宅状況調査は、登録機関の講習を修了した建築士のみ認められる業務です。令和3年度に本講習を修了された方は本年度が有効期限のため更新講習をご受講ください。

日時 3/12(水)

13:30～17:00(DVD講習)

会場 大阪府建築士会 東会議室

定員 30名(申込先着順)

受講料 WEB申込17,000円

郵送申込17,600円

申込 日本建築士会連合会HPより。

<https://www.kenchikushikai.or.jp/koshukai/kizonjyutakujyokochosa.html>

### 神戸ウォーカー

#### 「神戸の最新水域活用 G LION ARENAとレトロ建築を巡る」

1/25 CPD3単位予定

神戸で最新のアリーナが建設中で竣工前の状況を視察しその後、周辺の港湾施設や新スポット、神戸税関・KIITO・新港貿易会館等を視察していきます。アリーナは竣工直前の為内部視察は出来ません。周辺の外観視察となります。

日時 1/25(土)

13:00～17:00(集合12:45)

※終了後、有志の懇親会有り

集合 JR三宮駅西口(注意)

定員 20名(申込先着順)

参加費 建築士会会員1,000円

一般3,000円

### ぎりぎり間に合う

改正建築基準法・建築物省エネ法学習懇談会～4号特例廃止への準備と実務対応～  
2/7 CPD2単位(予定)

2025年の建築基準法改正が目前に迫るなか、4号建物の廃止や建物省エネ法の義務化拡大に伴い、建築業界は新たなルールへの対応が求められています。改正内容に関連する具体的な変更点や、4号特例廃止の影響につ



Informationの詳細及び申込みは大阪府建築士会ホームページに掲載しています。  
<http://www.aba-osakafu.or.jp/> メール [info@aba-osakafu.or.jp](mailto:info@aba-osakafu.or.jp)  
 TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

いて、実際に審査を行う民間審査機関の担当者をお招きし、詳しく解説していただきます。そして、この会では参加者同士や講師との意見交換ができる懇談の時間を中心に和やかに開催する予定です。現場での具体的な疑問や課題を共有し、改正に備える実践的な知識を深める場として、ぜひご参加ください。

日時 2/7(金)

18:00~19:40(受付17:30~)

会場 岸和田市立中央地区公民館2F 講座室2

参加費 500円

募集定員 15名(申込先着順、学生無料)

建築士会会員でなくてもご参加頂けます。

### 令和6年度文化庁文化芸術振興費補助金 まち歩きとシンポジウム 『歴史を知る、歴史的建造物にふれる、 まち歩きを楽しむ』

3/8

日程 3/8(土)

まち歩き(大阪市内) 10:00~12:00予定

参加費 2,000円/定員 各回15名

A:住吉大社めぐり:住吉区

集合 住吉大社反橋前

B:阪南町の長屋・町家めぐり:阿倍野区

集合 大阪メトロ西田辺駅改札

C:太子・山王まち歩き:西成区

集合 大阪メトロ動物園前駅改札

シンポジウム 13:30~16:30

参加費 1,000円/定員 100名

会場 南大阪教会

### 第4弾 これを見ずして村野藤吾を語る なかれin宝塚

3/22 CPD3単位(予定)

村野藤吾建築をめぐる第4弾企画は、兵庫県宝塚市において、宝塚市役所とカトリック宝塚教会を散策します。

京都工芸繊維大学准教授 笠原一人先生の案内により村野建築を堪能していただきます。

日時 3/22(土) 12:00~16:00

案内人 京都工芸繊維大学

准教授 笠原一人氏

参加費 建築士会会員2,000円

一般3,000円

学生5名限定1,000円

定員 限定40名(申込先着順)

\*見学会終了後、交流会を企画しています。

### その他のお知らせ

#### にほんの あらたな てしごと

#### 橋口新一郎展

—古代の敷葉、現代の茶室—

12/17~2/16

大阪府生まれの建築家・橋口新一郎によるアートインスタレーション作品の展示です。日本の伝統的な技術や感性に着目し、次々と茶室を発表。国内外で高い評価を得ています。代表作「織物の茶室|霞庵」と、狭山池の飛鳥時代~奈良時代の堤に使われている古代の土木技術「敷葉工法」から着想を得た作品を展示します。

日程 12/17(火)~2/16(日)

会場 大阪府立狭山池博物館

<https://sayamaikehaku.osakasayama.osaka.jp/>

#### 「鉄筋コンクリート構造計算規準」改定 講習会

1/27

日本建築学会刊行の「鉄筋コンクリート構造保有水平耐力計算規準・同解説」と「鉄筋コンクリート造建物の等価線形化法に基づく耐震性能評価型設計指針・同解説」の改定内容を解説します。

日時 1/27(月) 10:00~17:00

会場 大阪科学技術センター 大ホール

定員 250名

参加費 日本建築学会会員14,000円

後援団体会員16,000円

上記以外19,000円

申込 一般社団法人日本建築学会本部事務局

[https://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2024/2024rc\\_standard.pdf](https://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2024/2024rc_standard.pdf)

#### ネイチャーポジティブ(自然の再生と回復)

#### 世紀を越えて「万博の森」を考える

#### 「奇跡の万博公園」出版記念講演会

1/31

1.講演:吉村元男

テーマ:2070年100年の森に向けた万博公園の緑の構図と北大阪環境文化創造都市圏(200万人)の提案

2.講演:中橋文夫

テーマ:「万博の森」を2025大阪関西万博の「静けさの森」につなぎ、跡地に「地球の森」を創る

3.討論:畑祥雄、奥居武、塚口明洋、中橋文夫

テーマ:万博公園を核にした歩行者専用広域ネットワークと万博の森を太陽の塔と共に世界遺産に

日時 1/31(金) 13:00~16:30

会場 大阪市中之島公園中央公会堂

参加費 1,000円

本書を購入される方 4,800円

(「奇跡の万博公園」3,800円+入場料)

主催 70'大阪万博から100年先・2070年に、万博の森を世界遺産にする会

問合せ [kenbun.n0913@gmail.com](mailto:kenbun.n0913@gmail.com)

#### 開設者・管理建築士のための建築士 事務所の管理研修会

2/6

本研修会は、建築士事務所の管理・運営を適切に進める上で把握しておくべき重要事項を網羅した内容となっており、5年ごとの事務所登録の更新の機会に合わせて受講する(任意)ことで、資質の維持向上を図り、業務委託者の期待に応えるべく業務の適正化や建築物の質の向上等を目指すことを目的としています。

日時 2/6(木) 10:00~16:30

会場 大阪建築健保会館6階ホール

定員 90名

受講対象 建築士事務所の開設者及び管理建築士

受講料 会員8,800円

後援団体会員13,200円

一般15,400円

申込 一般社団法人大阪府建築士事務所協会

<https://forms.gle/U5wyLMqU4t3A2u5p6>

## 国際委員会の紹介



国際委員会 委員長 萬川幹夫

研修部門内の国際委員会は、近隣諸国との交流を通じて会員の視野を広げ、グローバル社会に対応可能な会員の育成に寄与できるよう努めています。海外からの依頼や問い合わせに対応する事や、委員が持つ情報や人間関係を基にセミナーや見学会等を企画化します。建築だけに留まらず食や文化、その国の芸能にまでも範囲を広げることもあります。とりわけ隣国の大韓民国釜山広域市建築士会とは、長らく深いお付き合いをさせて頂いています。

### ◆釜山広域市建築士会とお付き合い

隔年毎にお互いの総会に参加し両会の絆を強めています。儀礼的交流だけではなく、近郊の新しい建築や古刹、歴史的建築物見学や現場見学なども相互の興味に基づいて実行しています。30年を超える相互交流は、若手建築士や学生の作品展やコンペなどを催しています。



(現場見学会の様子)

### ◆諸外国建築関係団体との交流

大韓民国、ベトナム社会主義共和国、インドネシア共和、台湾、モンゴル国、ミャンマー連邦共和国、中華人民共和国の建築関連団体と協定を結び相互協力を約しています。最近では香港工業総会とも相互交流の協定を締結しました。これらの協定が相手国を訪問した時には、手厚くもてなして戴ける有

難い副産物を生み出しています。台湾の新北市建築師公會が来阪された際も、急な事でしたが、事務局と共に会談や食事会を開催しました。全くの不定期ですが、イスラエル建築視察団体との食事会も20年以上の交流があります。直接のコミュニケーションができなくても建物や現場、素材を間に不思議と気持ちを通じ、笑顔が溢れ盃が重ねられます。



(ホーチミン市建築士会との会談)

### ◆海外建築、文化、食の交流

新旧に関わらず、近隣府県に海外にまつわる何か有れば、それを掘り起こし研修や見学会と言う企画にまとめています。

最も長く継続している企画は『神戸ウォーカー』です。阪神間に点在する建物や史跡を訪ねて歩き廻ります。他にはイギリスの紅茶、モンゴルの食と文化、ウクライナの木造建築と歴史、イスラムのタイルと建築文化等です。



(ミルアラブメドレセ)



(セミナーの様子)

### ◆海外研修旅行

主に近隣アジア諸国への研修旅行を主催しています。その地の建築文化や遺産などを巡る特別旅行です。特に交流がある相手国では、一般訪問では訪れることができない、古刹や建物内部の見学等も可能となることがあります。その地を訪ねると、映像や写真からは受け取ることができない、真の文化の根底と思えるような事を感じる事が多くあります。是非とも多くの皆様のご参加をお待ちしています。

※令和7年は2月にタイ国への研修旅行が決まっています。(申込みは締切りました)



(懸空寺)



(令和6年 上海研修旅行)

## 地域まちづくり委員会 防災分科会の紹介



防災分科会 担当理事 北條豊和



12月度防災分科会の集合写真

防災分科会では、近年ますます懸念が膨らんでいる大規模な災害発生に備えて、府下全域において地域防災力向上を図る社会貢献活動に取り組んでいます。

建築士の職能を活かした防災の取り組みは多岐に渡り、行政から訓練や講師派遣の依頼も多くいただいています。

いざというときに市民の方々や地域社会、また日本のどこかの被災地のお役に立つためには、日頃からの準備を怠らないよう啓発すること、建築のプロとして常に我々が学習を続けること、災害発生時の指揮系統として行政との連携を密とすることなど、常に「その時」を想定していまできることを実行しています。そんな思いで取り組んでいる活動の一部を以下にご紹介したいと思います。

の解説及び実務上の対応について、本会会員向けの講習会を開催しました。



応急危険度判定訓練



地震直後に被災建築物の応急危険度判定を迅速かつ的確に実施するため行政と連携、訓練を実施したり研修会を開催しています。



損害保険被害状況調査訓練模擬診断

多発する広域災害（地震や台風、水害、雪害など）において損害保険会社・共済の現地災害本部等に駐在し、家屋等への被害状況の損害調査を行っています。



損害保険被害状況調査訓練臨時指揮所



講習会への講師派遣



本会会員向け研修会



罹災証明発行のための講習会

災害発生時に行政対応が逼迫する罹災証明発行について、本会が行政を補助できるようにするため、内閣府の「災害に係る被害認定基準運用指針」の判定方法と、実際の住家被害認定調査票による損害割合判定の内容など、今後も起こりうる災害に備え、運用指針

“防災”をテーマとした様々な角度からの研修会の実施や、各行政からいただく訓練や講習会への講師派遣なども積極的に行っています。災害は起こる前、起こったとき、そしてその後も避難生活などずっと続くものです。決して瞬間的なものではなく、我々が生きていく中でずっと考え続けなければならないものだ、そう思っています。

安心・安全・快適なモノづくりをめざす

上田茂久

株式会社 上田茂久・建築設計工房  
大阪市北区中津1-12-3

DX・GX・SXを通じて社会貢献を!

岡本森廣

株式会社 長田建築事務所  
大阪市中央区谷町9-5-28-806

澤本侃一郎

株式会社 K&S総合企画  
大阪市西区京町堀2-2-1  
(スマタビル10F)

謹賀新年

田中義久

株式会社 田中都市建築事務所  
(TANATOSHI DESIGN NET)  
大阪市住吉区帝塚山西1-11  
A-101

2025大阪関西万博を成功させよう!

徳岡浩二

株式会社 徳岡設計  
TOKUOKA SEKKEI MYANMAR Co., LTD(YANGON)  
大阪市中央区本町橋5番14号  
(オージービル本町橋3階)  
大阪・東京・滋賀・九州

大阪万博・人類共有の夢の可視化へ

柳川陽文

株式会社 小河建築設計事務所  
大阪市中央区瓦町3-3-7  
(瓦町KTビル6F)

明けましておめでとうございます

横田友行

株式会社 能勢建築構造研究所  
大阪市中央区瓦町3-3-7  
(瓦町KTビル)

建築設計事務所 他

人、社会、地球環境との共生

生島宣幸

株式会社 日積サーベイ  
大阪市中央区大手前1-4-12

大松 敦

株式会社 日建設計  
大阪市中央区瓦町3-6-5

金峰鐘大

株式会社 IAO竹田設計  
大阪市西区西本町1-4-1

夢ある未来の創造

湯浅武夫

株式会社 阿波設計事務所  
大阪市浪速区元町2-2-12

米井 寛

株式会社 東畑建築事務所  
大阪市中央区高麗橋2-6-10

渡邊浩文

公益社団法人日本建築積算協会  
関西支部 支部長

100年をつくる会社  
**鹿島**

常務執行役員  
支店長 茅野 毅

関西支店：大阪市中央区城見2丁目2番22号 電話06(6946)3311  
本社：東京都港区元赤坂1丁目3番1号 電話03(5544)1111

**大成建設**  
TAISEI

*For a Lively World*

執行役員関西支店長 足立 憲治

関西支店：大阪市中央区南船場1-14-10 電話06(6265)4504  
本社：東京都新宿区西新宿1-25-1 電話03(3348)1111

想いをかたちに 未来へつなぐ

 **TAKENAKA**

取締役社長 佐々木 正人

〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-13  
〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1

建材・設備会社 他



**CAZARY® ORNAMENTAL HARDWARE**  
建築用装飾金属設計製作施工

株式会社 **アルテック**

代表取締役  
社長 加藤 節夫

大阪営業所 〒556-0006 大阪府大阪市浪速区日本橋東1-4-1  
TEL 06(6644)6421(代)



UCHIYAMA

〈会社案内〉



明けましておめでとうございます。  
**内山鑑定株式会社**

代表取締役社長  
1級損害保険登録鑑定人

**内山 真**


〒107-0052  
東京都港区赤坂 2-2-17  
ニッセイ溜池山王ビル 8F  
TEL:03-5545-8600 FAX:03-5545-8619

<大阪市内最大規模>人気のモデルハウスが 30 棟！

**花博** 記念公園  
**ハウジングガーデン**  
HANA HAKU MEMORIAL PARK HOUSING GARDEN



住所 大阪市鶴見区焼野 1 丁目南 2 番  
電話番号 06-6915-3571

主催 /  一般財団法人 大阪住宅センター  
後援 / 大阪府・大阪市・住宅金融支援機構近畿支店



一般社団法人  
**大阪電業協会**

会長 上坂 隆 勇

〒530-0055  
大阪市北区野崎町9番8号 永楽ニッセイビル  
TEL(06)6363-4077 FAX(06)6363-4079  
ホームページ <https://www.osdenkyo.or.jp/>

人と建物をつなぐリノベーションリーダー-KGS



近畿外壁仕上業協同組合

理事長 宮澤 健一

〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目7番12号  
TEL (06) 6533-0768 FAX (06) 6533-0784  
URL <http://www.kinki-gaiheki.or.jp/>



荷物用エレベーターはクマリフト。  
荷物用 人荷用エレベーター (マルチベアー)  
小荷物専用昇降機 (コンパクトベアー)  
販売 / メンテナンス / リニューアル

業務用エレベーターメーカー

**クマリフト株式会社**  
本社：大阪市西区京町堀 1-12-20  
TEL：0120-07-0570  
ホームページ：www.kumalift.co.jp



マンション・ビルの大規模修繕工事  
高分子株式会社



www.konounsni.co.jp

代表取締役 山口 朗

〒599-8271 大阪府堺市中区深井北町3418-1 TEL：072-278-4157(代表)

建築・インテリア・土木・造園  
建設のすべては、修成で学ぶ

学校法人 修成学園  
修成建設専門学校

理事長 山下 裕貴

〒555-0032 大阪市西淀川区大和田5丁目19番30号  
TEL.06-6474-1644

建築士・宅建士・施工管理技士 資格指導のエキスパート



総合資格学院

梅田校 大阪市北区堂山町3-3 日本生命梅田ビル8F TEL.06-4709-8111  
京橋校 大阪市都島区東野田町4-6-23 ニッセイ京橋ビル1F TEL.06-6882-8211  
なんば校 大阪市中央区難波4-1-15 近鉄難波ビル5F TEL.06-6648-5511  
堺校 堺市堺区中瓦町1丁-4-21 和建堺東ビル2F TEL.072-222-9311

スクールサイト [www.shikaku.co.jp](http://www.shikaku.co.jp) 総合資格 検索

キノウを超える、ミライへ。

DAIKEN

大建工業株式会社

大阪市北区中之島3-2-4  
中之島フェスティバルタワー・ウエスト  
06-6205-7214

アクスタ・クリアカード  
カレンダーetc...  
1つでも  
注文OK!  
あなただけの  
オリジナルグッズ  
作りませんか?

CHUWA  
中和印刷紙器株式会社  
詳しくはコチラ

〒640-3225 和歌山市久保丁4丁目53 TEL.(073)431-4411 FAX.(073)431-8188



一般社団法人  
日本建築材料協会  
JAPAN BUILDING MATERIALS ASSOCIATION

会長 松本 將

本部 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-4-23 撞木橋ビル4F  
TEL 06-6443-0345 FAX 06-6443-0348  
支部 関東・中部・中国・四国・九州  
<https://www.kenzai.or.jp>

安心と信頼を共に創るパートナー

一般財団法人



日本建築総合試験所

理事長 川瀬 博

〒565-0873 吹田市藤白台 5-8-1  
TEL 06-6872-0391 FAX 06-6872-0784  
<https://www.gbrc.or.jp>

学校法人 福田学園



OCT 大阪工業技術専門学校

OHSU 大阪保健医療大学

OCR 大阪リハビリテーション専門学校

理事長 福田 益和

〒530-0043 大阪市北区天満1-9-27  
TEL 06-6352-0093 FAX 06-6352-5995  
URL <https://www.fukuda.ac.jp>



夢のレンガを積みあげよう



## 都窯業株式会社

大阪市北区西天満 2-8-1 大江ビル  
☎(06)6367-0389 FAX(06)6367-5567  
工房 伊賀市西山 伊州窯 伊州観白樓  
E-mail:info@miyakogyo.com  
HP :http://www.miyakogyo.com

アルミニウム建築材料 アルミニウム総合商社



## 安田株式会社

代表取締役社長 安田 誠

〒542-0081 大阪市中央区南船場1-11-9 長堀安田ビル7F  
電話 06 (6251) 7091 FAX 06 (6262) 3629

本社 大阪  
札幌 北関東 東京 名古屋 大阪 福岡

## 吉村順三の遺した木造教会の今

三里塚教会 一九五四年

文・写真 松隈洋〔神奈川大学建築学部教授〕

秋深まる二〇二四年十一月二十三日、千葉県成田市に建つ小さな木造の三里塚教会を久方ぶりに再訪する機会があった。今から七十年前の一九五四年に竣工し、十一月二十五日に献堂式を迎えた吉村順三の遺した唯一の教会建築である。この日は、千葉大学建築学コース准教授の頼原澄子研究室の企画した「三里塚キャンドルナイト」と題するユニークな催しが行われ、学生たちの作成したフライヤーには、「吉村らしい心安らぐ

キャンドルライトに囲まれた正面外観。鐘楼には鐘が設置されている。



豊かな空間を持つこの建築を私たちと一緒に暖かく照らしませんか」と謳われていた。実際に、夕暮れ時となる十七時から、学生たちが手づくりして庭いっぱい並べたLEDキャンドルライトに明かりが灯され、参加者が近隣の人たちと語り合う印象的な光景も見られた。

本連載(二〇一五年六月号)で取り上げたように、二〇一三年、吉村の知られざるこの教会の現存が確認されて、「三里塚教会と吉村順三展」(ギャラリーエークワッド主催)の開催が決まり、内部も再現した縮尺一/二〇の木製模型の制作依頼を受けた。そのため、同年九月に、京都工芸繊維大学の研究室の学生(太田真理、久保田恵美)と実測調査に赴いたのである。設計図のコピーを受け取ってはいたものの、細部の納まりや正確な寸法を現地を確認するのが目的だった。実はこの時、到着後すぐに、わき目も振らず実測を始めた学生たちが、初めて接した教会の居心地の良さを全身で体感している姿に、一人感動していた。

面積だったが、一九三三年に二、〇〇〇町歩が民間に払い下げられ、一九四六年には一、〇〇〇町歩が旧・満州開拓移民に解放されて、農民たちの辛苦の努力で荒地が農地として整えられていく(宇沢弘文『成田』とは何か)岩波新書一九九二年)。

それから十一年、展覧会終了後に教会へ寄贈された模型と再会し、予算が乏しく吊られていなかった鐘樓の鐘が、展覧会を機に集まった寄付金により、竣工から六〇年後の二〇一四年に設置されたことも確認できた。そして、何よりも感慨深かったのは、そこに、次の世代の千葉大学の学生たちの活動が加わり、人の輪が近隣へと広がったことである。

「私は三里塚を「日本のバルビゾン」と呼んでいた。(…)北総の台地で見渡す限りの平野、ゆるやかなスロープを描いて疎林が点々と見えるだけだ。この地方特有の軽掘土は表土として地表を柔く包み延々と伸びている。(…)私はこの地方を、「日本のウクライナ」とも呼んだ。四季を通じ冷害、水害、風害もなく、絶えず稔り豊かな二毛作の穀倉だ。そして農民は常に恵まれて来た。(…)そこに羊が飼われ牛が馬が育ち、そしてどこにも見るものない素晴らしい牧歌的な農村の風物が、そこから生まれ行ったことは極く自然の成り行きだと思ふ。いうならばかつての三里塚は泰西名画に見るような風景だと言っても過言でない。(…)有名無名の画家たちが各地から来て、三里塚を中心に写生をしていた。(…)美術学校や太平洋画研究所の生徒が先生に伴われて泊まりながら三里塚に写生に来たのも忘れられない。(…)そ

の三里塚が空港によって破壊されるとなると、黙ってはおれなかった。」(三里塚の自然美)『千葉日報』一九七九年二月四日)

初めて立ち寄り、この小さな教会の竣工した当時の周囲の原風景についても知ることができた。三里塚一帯は、牧畜の適地として江戸時代から軍馬や農耕馬の放牧地だったが、明治に入ると、内務省により牧羊場や牛馬の改良に当たる種畜場が設置され、一八八五年に宮内省の所管となり、下総御料牧場として管理されていく。当初は三、五十

七町歩(約三、四八八万㎡)の広大な

吉村が見たのも同じ風景だったに違いない。だが、戸村が文末に書き留めたように、三里塚教会は、竣工からわずか十二年後の一九六六年七月、突如、三里塚一帯が国際空港建設地に閣議決定され、歴史の激流の渦に巻き込まれていく。この時、信望の厚かった戸村は、翌八月に急きょ結成された三里塚芝山連合空港反対同盟の委員長となり、亡くなるまで尽力する。しかし、一九七八年五月、農民たちの命がけの抵抗も空しく、彼らが守り育てた農地も、十万株の桜が咲き誇っていた御料牧場も、開港した巨大空港の滑走路の下に埋められてしまう。しかも、同じ文章によれば、三里塚教会は、ある牧師により、「公団の騒音転補償をえて幼稚園舎を建てる」目的で「身売り」され、別の場所に転移されたのだ。こうして、戸村が「一見農家の納屋を想わせるような農村にふさわしい建築」と共感をもって書き留めた三里塚教会は、竣工時に周囲に広がっていた農村の原風景と、その簡素な空間に込められた吉村の思いを記憶する歴史的な定点として、建物だけが遺されたことになる。時を経て開催された手づくりの催しに立ち会い、キャンドルライトの温かな光に包まれた教会と、そこに寄り集う人びとの姿を前に、この三里塚教会が地域の新たなよりどころとなつてほしい、と祈らずにはいられなかった。その行方を遠くから静かに見守りたい。



## 【oiya (オイヤ)】

野水瓦産業株式会社  
御原特殊瓦株式会社  
株式会社タツミ

<https://www.oiya.jp/>

取材：橋本頼幸／建築情報部門委員



## 淡路瓦イズム



野水瓦産業（株）・御原特殊瓦（株）・（株）タツミの淡路島窯元3社のプロジェクトが立ち上がった。土と共生するために。

淡路島出身の著名プロダクトデザイナーである倉本仁氏とコラボレートして『oiya』プロジェクトがスタートした。

2021年夏、コロナ禍で発表会の開催が難しいなか、東京西麻布のカリモク・コモンズ東京で『oiya』の作品発表会を開催。

土は太古からの記憶を積層している。その土に新たな形と役割を与えること。それが『oiya』の目指すところ。

瓦製造技術は約400年前に淡路島に伝えられたと言われている。良質な粘土と海上交通、京都・奈良・大阪での瓦需要などの地理的条件が重なり、淡路瓦は日本三大産地のひとつとして発展してきた。しかし、現代の都市や生活空間には土を感じることは少なくなった。土の素朴さ、力強さ、柔らかさ、土が持つちからを改めて感じてもらいたい。淡路瓦にかかわる人たちはそれを強調する。

屋根材としての瓦の販売量は激減した。瓦事業にかかわる会社や人々も最盛期の1/4まで減っている。瓦が現代建築で使われなくなったことに、後継者不足も追い打ちをかける。

現代建築において使われるタイルは国内で製造するところは少ないという。瓦は小ロットから、かつお客さんのニーズに合わせたものも作れる。タイルでできないことをできるのが瓦の良さ。野水専務はそう強調する。

『oiya』プロジェクトの3社は、それぞれ特徴を持つ。（株）タツミは鬼瓦や飾り瓦などを作る職人「鬼師（鬼瓦職人）」が一つ一つ手作り製作を得意とする。御原特殊瓦（株）は土を知り尽くし、特殊な瓦の成形・焼成を得意とする。野水瓦産業（株）は手仕事から最新技術を駆使した多種多様な瓦を製造する。この3社が集まったからできたプロジェクトである。

語源は、北欧で『島』を意味する「øy」に由来。出来あがった製品そのものだけでなく、島の産土（うぶすな）を意識し、次の時代に残す新しい「もの」づくり。

『oiya』の製品は、外壁材と家具の約20種類。野水専務はこれまでいくつか納入実績ができて、徐々に広がってきている実感を感じている。しかし、家具は一つ一つ手作りで大量生産にむかない。海外進出も視野に入れてホームページは英語と日本語の併記している。アジアのみならず、ヨーロッパ、アメリカにも出荷を考えるが、輸送に時間を要する。様々な困難にぶつかりながらも、土の良さを前面に出した商品の開発を続ける。瓦のデザイン性の高さを店舗内装などにも使ってもらいたい。

長年培われた伝統と時代に合わせて挑戦する心意気が新しい化学反応を起こすだろう。

### ■淡路瓦のお問い合わせ先

淡路瓦工業組合

兵庫県南あわじ市湊 134

Tel.0799-38-0570 Fax.0799-37-2030

info@a-kawara.jp

<http://www.a-kawara.jp/>



吹抜を中心に螺旋状に居場所につながるラウンジ空間



人の流れを受け入れ、親しみやすい印象を街に与えるファサード